

平和月間関連事業について

札幌市では、今年度から 8 月を「平和月間」と位置付け、市民の皆さんに平和の尊さを再認識してもらうためのさまざまな事業に取り組みます。

8 月は、広島・長崎への原爆の投下や終戦という、人類として忘れてはならない日々が集中し、戦争や平和について考えるのに最もふさわしい月。夏休み期間中でもあるこの時期に戦争の悲惨さを伝えることで、多くの皆さんに平和への思いを新たにしてもらいたいと考えています。

なお、この月間の意味合いを市民により分かりやすくアピールするため、副題を付けることとし、今年度は「平和へのメッセージ」の中から、「平和への思いを未来へ育てる」(札幌聖心女子学院 3 年 逢坂 瞳さん)を選定しました。

平和への意識を高めるため、市内の小学 5・6 年生と中学生を対象に、平和への願いや思いを表現したメッセージやイラストを募集し、その中から選ばれた優秀作品を表彰する事業で、平成 17 年度より実施している。今年度は、昨年度より約 1,000 点多い 2,621 点の応募があった。同事業での優秀賞受賞者は、平和訪問団として、毎年広島市や長崎市に派遣される。

1 平和展

- (1) 主 催 札幌市
- (2) 開催日時 平成 20 年 8 月 4 日(月)～8 月 15 日(金) 8:45～17:00
土・日曜日を除く。
- (3) 会 場 市本庁舎 1 階ロビー
- (4) 内 容 原爆パネル 20 枚と、「平和へのメッセージ」入選作品 20 点を展示。

2 平和訪問団派遣

- (1) 主 催 札幌市
- (2) 日 時 平成 20 年 8 月 7 日(木)～8 月 9 日(土)
- (3) 内 容 「平和へのメッセージ」の優秀賞受賞者 6 人を長崎市へ派遣。長崎市主催の全国青少年交流事業(青少年ピースフォーラム)に参加し、被爆施設の見学や平和記念式典への参列を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さについて理解を深めてもらう。

3 平和子どもつどい

- (1) 主 催 札幌市教育委員会
- (2) 開催日時 平成 20 年 8 月 12 日(火) 10:30～12:00
- (3) 会 場 市本庁舎 1 階ロビー(上記「平和展」の会場内)
- (4) 内 容 市内小中学生の代表 5 人が、インターネットを使用した同時中継により、長崎在住の被爆者の方から被爆体験の話を聞くほか、平和について学校などで学んだことを発表する。また、発表内容について被爆者の方から講評してもらう。

4 被爆体験講話・原爆関係映画上映会「あの夏の記憶 -ヒロシマ・ナガサキを忘れない-」

- (1) 主催 札幌市
- (2) 日時 平成 20 年 8 月 16 日 (土)
- 第 1 部 講話 10:00 ~ 11:00 映画 11:15 ~ 12:45
- 第 2 部 講話 13:30 ~ 14:30 映画 14:45 ~ 16:15
- (第 1 部と第 2 部とも内容は同じ)
- (3) 会場 札幌市教育文化会館小ホール
- (4) 内容 講話「被爆体験者が語るあの夏」(1 時間程度)
- 講師:(財)長崎市平和推進協会継承部会員 永野 悦子さん
- 映画「ヒロシマナガサキ」上映(1 時間 27 分)
- 2007 年度公開作品 スティーブン・オカザキ監督
- (5) 参加費 無料
- (6) 定員 各 360 人(多数時抽選。抽選になったときのみ抽選結果を通知。)
- (7) 申し込み 札幌市コールセンター
- 電話 222-4894
- ファクス 221-4894
- Eメール info4894@city.sapporo.jp
- (8) 申込期限 8 月 11 日(月)
- (9) 関連ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/shimin/heiwa/>

5 各区の取り組み

戦争を体験された方々の話を、子どもたちに伝えていく次世代継承事業に取り組むこととしている。例えば、厚別区では、戦中戦後の食料難の話を聞き、「すいとん」を調理し交流する会を、北区や豊平区、手稲区では、戦争関連施設を巡り、生死をさまよった体験や空襲にあったときの話を聞く会などを催すことを予定している。

問い合わせ先

市民まちづくり局地域振興部区政課平和事業担当

湯浅、保木

電話：211-2252